

2020年7月18日 聖書預言座談会

アミール・ツアルファティ

-アミール、ジャン・マーケル、バリー牧師による座談会-

[YouTube : 2020年7月18日聖書預言座談会](#)

[アミール] シャローム、皆さん、アミール・ツアルファティです。イスラエルのガリラヤより、ライブでお届けしています。そして今日、私と一緒にライブをお届けするのは、ミネソタのジャン・マーケル、シャローム、ジャン。今日は、バリー・スタグナー牧師とご一緒いただいています。そして、バリー、あなたも一緒です。今日は...まだ、おふたりを知らない人のためにお名前を載せておきます。これは、私たちの座談会です。初めての座談会です。ここでは、聖書の預言に関連することを話し合います。聖書の預言そのものの重要性や、それから、私たちが気になっている世界中の様々な問題、特にレムナント、特に教会そのものについて。さて、ジャン、もう一度シャローム。

[ジャン] シャローム、アミール。

[アミール] シャローム、バリー牧師。

[バリー牧師] シャローム、アミール、会えて嬉しいですよ。

[アミール] ご覧の通り、バリー牧師は、ちょっといつもと違いますね。

[バリー牧師] 私だと分かるように、私の名前を表示しておいた方がいいでしょう。

[アミール] 出てると思いますよ。表示されてるといいですけど。とにかく、これが私たちにとって初めての座談会です。よろしければ、バリー牧師、お祈りから始めてください。その後、すぐに座談会の最初のテーマである、聖書預言の重要性についてお話します。バリー牧師、よろしければ、お祈りをお願いします。それからすぐに始めましょう。

[バリー牧師] もちろんです。お父様、あなたを知っている事を感謝しています。御言葉を与えて下さっている事を感謝します。主に感謝します。あなたは詩篇138:2で、おっしゃっています。

「ご自分のすべての御名のゆえに、あなたのみことばを高く上げられた」

そして主よ、あなたのみことばが、今後の事を告げているので、私たちは準備ができ、今、起こっているこれらのことが、私たちを驚かせることはありません。あなたのみことばを通して、あなたが語られることを聞くために、耳を開いてくださるあなたの霊に感謝します。ですから、どうか私たちに今、語りかけてください。話す者と聞く者に、あなたの油注ぎと祝福をお願いします。

主イエスの御名によってお祈りします。アーメン。

[アミール] アーメン、アーメン。さて、この座談会では、かなりの数のトピックについて話し合うことになります。携挙について、患難について、患難との関連における、携挙のタイミングについて。聖書預言の教えに関する、さまざまなアプローチについてお話しします。こんにちの教会で見られる、聖書預言を誤って解釈する事の、いろいろな危険性についてお話します。ということで、この座談会では、これから数週間、たくさんのトピックについて話し合っていきます。でも、今晚、始めたいのは...もちろんおふたりにお尋ねしていきますが、まずは人類史上、最も重要な日曜日の話から始めましょう。それはイエスが復活された日曜日です。主はすでに、よみがえられていました。マリアが先に来て、それから弟子たちが来て、イエスがそこにはいないことを確認しました。御使いは既に言っていました。「主はよみがえられたので、そこにはおられない！だから、主はそこにはおられないのです。」(マタイ28:6、マルコ16:6、ルカ24:6、ヨハネ20:12参照)だから、復活の知識がありました。空の墓は、物理的にイエスがなくなったと証してい

ました。イエスはすでに、マリアに現れていました。その事もありました。それでも2人の弟子が完全に混乱し、完全に敗北し、完全に失望してエルサレムを後にしていました。そして、彼らはエマオと呼ばれる村に向かって歩いています。では、ルカ24:13から読みます。

「ところで、ちょうどこの日、弟子たちのうちの二人が、エルサレムから60スタディオン（7マイル）余り離れた、エマオという村に向かっていた。」（13節）

ちなみに別の聖句では17マイルですが、後でお話します。

「彼らは、これらの出来事すべてについて話し合っていた。話し合ったり論じ合ったりしているところに、イエスご自身が近づいて来て、彼らとともに歩き始められた。しかし、二人の目はさえぎられていて、イエスであることが分からなかった。イエスは彼らに言われた。『歩きながら（暗い顔つきで）語り合っているその話は何のことですか。』」（14節～17節前半）

その言葉を覚えておいて、丸で囲んでください。あなたがたは歩きながら、語り合っていて、暗い顔つきをしている。

「そして、その一人、クレオパという人がイエスに答えた。『エルサレムに滞在していながら、近ごろそこで起こったことを、あなただけがご存じないのですか。』」（18節）

そして、イエスの最高のセリフが出てきます。「どんなことですか？」（笑）そして、彼らは続けます。

『ナザレ人イエスのことです。この方は、神とすべての民の前で、行いにもことばにも力のある預言者でした』（19節）

いいですか、彼らはイエスを預言者と呼びました。

『それなのに、私たちの祭司長たちや議員たちは、この方を引き渡して、死刑に定め、十字架につけたのです。しかし私たちは、この方こそイスラエルを贖ってくださるはずだ、と望みをかけていました。事実、そればかりでなく、そのことがあってから三日目になりますが、また仲間の女たちが私たちを驚かせました。その女たちは朝早く墓に行ってみましたが、イエスのからだが見当たらないので、戻って来ました。そして御使いたちの幻を見たが、御使いたちがイエスは生きておられると告げた、と言うのです。それで、仲間の何人かが墓に行ってみたのですが、はたして女たちの言ったとおりで、イエスさまは見当たらなかった、というのです。』（20節～24節）

イエスの素晴らしい答えを、見てください、それが、今日のトピックの出発点となります。

「するとイエスは言われた。『ああ、愚かな人たち。預言者たちの言ったすべてを信じない、心の鈍い人たち。』（25節）

ここで止めます。イエスがおっしゃったこと、なさったことは他にもたくさんありますし、もちろん、彼らの目はある時点で開かれたわけですが、イエスが今、語り掛けているのはご自身の弟子たちだという事実を理解していただきたいと思います。イエスはラビや、信じていないユダヤ人たちに語っているのではありません。これらは、イエスと共に歩き、主の話を聞き、主を見て、主と一緒に過ごし、主と食事をした弟子たちでありながら、イエスが誰であったかを理解していない人たちです。彼らは、イエスの死の目的が、何であったかを理解していません。彼らが理解していないのは、単に、預言者たちが語ったことを信じていなかったからです。ジャン、ここで見てくるのは、聖書の預言に関する無知は、この50～60年の間に始まったのではないということです。

[ジャン] そうですね。

[アミール] それは、イエスの時代にまで容易にさかのぼれるものです。預言者の書があって、彼らは会堂でそれらを読み、すべてのことに耳を傾けていたのですが、しかし、欠けていた要素は、彼らが信じていなかったという事です。こんにちも、同じことが起きていますか？

[ジャン] そうですね、まあ、そのうちのいくつかは、まだ起きていますと思いますが、今と違うと私が思うのは、今の時代は、未来を知りたがって、文字通り、その事に取り付かれています。聖書的な視点から見ている人達は問題ありません。しかし、信仰のない世が、占い師や、“ウィジャボード”を使って、未来を告げようとする様々なお店に駆け込んでいますよね。人は文字通り、未来を知りたいという気持ちに取り付かれています。聖書の中ですべてが概説（説明）されているのに。私たちに必要なのは、聖書だけです。つまり、未来についての知識への飢え渴きが高まってきたのだと思います。そして、教会の事となると、今の教会には私たちが話していることを聞きたいと切望している人たちが、何百万人もいます。しかし、説教壇は沈黙しています。彼らは「今、最高の暮らしをする」事について話していて、それはそれでいいのですが、それは、人々が本当に聞きたい事ではありません。彼らは、昔の預言者のように、未来について学びたがっているのです。そして、未来には何があるのか、それはどのように展開していくのか。それは、すべて聖書に書かれています。

[アミール] バリー牧師、COVID-19（新型肺炎）は、「今、良い生活をする」のを強調している教会の妨げになっているように思えます。人々は、みことばに戻る必要があるようです。あなたは、南カリフォルニアの牧師としての視点から、今日、COVID-19が起こっている状況でも、預言に対する同じような無知、また、無関心とも言えるものがあると思いますか？まだそんな状態ですか？

[バリー牧師] 私は、間違いなく、それが今まで以上に露呈^{るてい}していると思います。私たちが見ているように、教会内の分裂が今まで以上に、はっきりしているでしょう。ここカリフォルニアでは、サクラメントの「陛下」から、また指示が下されました。教会は屋外での礼拝か、オンラインのみの礼拝に戻さなければなりません。様々なメディアで教会同士が、というか、クリスチャン同士が口論しています。「まあ、なぜ開いたりするのか？」そして、他の人たちは「いいえ、私たちは人ではなく神に従うべきです」と言っています。こんにちの教会の中には明確な分離線があり、それが強調されていると思います。しかし同時に、イエスがオリーブ山の説教の中で、疫病や災いの始まりについて言及されたので、もうちょっと詳しく知ろうとする人たちが出て来てはいます。しかし同様に、それはセンセーションナリズムにも機会を与え、彼らは聖書の語ることを超えてしまっています。ですから、今は本当に面白い時代なんです。このことから、一つの教訓を得るとすれば、それは、世界全体がいかに早く変化し、比較的少数の人々によって支配され得るか、という事です。彼らのとった措置に関して言うと、経済を停止させ、それは権力者によって支配され、操られています。そして、繰り返しますが、聖書はこれがすべて実現するだろうと告げているので、私達は驚くべきではありません。でも、そうですね。教会では聖書の預言をめぐって分裂が起きています。

[アミール] ジャン、教会が預言を無視して、それを教えなかったら、どうなるでしょうか？もし預言がなかったら、彼らのクリスチャンとしての歩みは、どのようなものになるのでしょうか？

[ジャン] 預言は私たちに祝福された希望を与えてくれます。そして、私は色々な人からメールをいただきます。「将来のための計画を理解していなかったら、自分には、うまく対応できないだろう...永遠の視点を理解せず、天国の栄光を理解せず、その前に、何が起こるのかを理解していなかったら。」それは明らかに教会の携挙の事です。この地上で、文字通り、地獄のような混乱が起こる前に。私が面白いと思うのはね、アミールとバリー、私たちは人類史上最も重要な時代に生きていて、それは、日常的に起こっている事象に関連していて、聖書の中に書かれているものです。人類歴史の中で、最も重要な期間でありながら、関心がほとんど持たれていません。あなたをフォローしてる人たちじゃなく、教会全般の話をしています。ですから、私たちの目標と、私たちの様々なミニストリーをフォローしている人たち全員の目標は、何が起こっているのか、なぜ起こっているのか、それが聖書にどのように当てはまるのか、聖書の預言にどのよう

に当てはまるのかについて、より多くの人たちの目を開き、熱心にならせたり、少なくとも好奇心を抱かせることだと思います。それは全て、聖書で説明されているからです。私たちが、この世代の一人として生きているのは、とても恵まれている事です。昔の預言者たちは、私たちになりたかったのです！彼らは、こういうのを見たかったのです！そして、ここで私たちは、そういうのを見る特権にあずかっているのです。

[アミール] そうですね。預言は、私の見方では、文字通り神がご自分の計画に関して、人々に話すことを望んでおられるという事です。つまり、それは、神のご計画を神の民に伝えるための、神のやり方に他ならないのです。ヘブル人への手紙の1章を読みます。

「神は昔、預言者たちによって、多くの部分に分け、多くの方法で先祖たちに語られましたが、この終わりの時には、御子にあって私たちに語られました。神は御子を万物の相続者と定め、…」(1節～2節)

つまり、それは預言者たちによって、先祖たちに語ったのと同じ神なのです。それが、神のご計画を、神の人々に伝えるための神のコミュニケーションの手段であるのは、面白いことではないでしょうか？そしてバリー、聖書の預言は良いことばかりなのではないでしょうか？

[バリー牧師] 何ばかり？

[アミール] 良いこと。

[バリー牧師] (笑) いいえ、全然。私たちが今生きている時代は、起ころうとしている事の大部分、私達に告げられている事で、間近に迫っているのは、神の直接の御怒りが地上で起こり、教会と、地上における聖霊の引き止める力が取り除かれ、不法が蔓延するようになる、という事です。ご存知のように、患難時代の最中は、ポジティブなものは、あんまりやって来ませんし、そして大患難の前でさえも、困難な時代になると告げられています。第二テモテ3章1-5節は、終わりの日に起こるであろう、人類のいくつかの大きな、重大な、性格上の欠陥について語っています。第二テモテ4章2節には、教会の内部が、健全な教義に我慢できないことが書かれています。そして、アミール、ジャンへの質問にコメントしても良いかな？聖書の預言がなければ、私達はどうなっているか？私たちは、主を知らない人々と全く同じになっているでしょう。絶望して、恐れ、今激しく増え続けている自殺率、落胆、鬱など、それらすべてのものです。それが十分物語っているでしょう。それらのものが、クリスチャンの生活の中に全くないわけではありません。しかし、現実には、世界は何が来るのか何も知らず、今彼らが見ているものは、全て希望のないものです。そして、私たちは物語の終わりを知っています。信者である我々には、素晴らしい時間が待ち受けていることが分かっています。そして、パウロが第一コリント15章で言ったように、私たちは移行しようとしています。

「たちまち、一瞬のうちに死者は朽ちないものによみがえり…」(52節)

いつまでも、主とともにいることになります。私自身は、それを知っていて嬉しいです。

[アミール] はい、同感ですね。聖書の預言は…預言の大半は、イスラエルに与えられているようです。現実を見ましょう。旧約聖書の預言者のほとんどは、イスラエルについて語りました。そして、イエスの教えの中でも、例えばオリーブ山の説教の中でも、マタイ24章の大部分はイスラエルに関するものでした。そして、多くの人々が混乱しています。ジャン、あなたに質問しますが、人々は言っています。「ちょっと待ってください。これらの預言者や預言はすべて、イスラエルが勉強しなければならぬもので、私たち教会はただ自分の人生を生き、神の言葉を学び、手をつないでクンパヤを歌えばいいのではないですか？」

[バリー牧師] (笑)

[ジャン] それは…その…、私が聞きたいのは、神学校では何が教えられているのか、です。時々、神学校は、みんなで手をつないでクンパヤを歌うべきだと教えているのではないかと思うことがありますから。まだ少しは残っていますよ。ダラス神学校は、私たちが話し合っている事を教えていますし、他にも数校あ

りますが、非常に少ないです。そして、どうなるかと言うとね、アミール。牧師たちは、十分に備えられずに説教壇に立つようになってきているようです。そして、彼らは私たちが話している事について次のように感じているのです。①異論が多すぎる。②彼らは、私たちが話しているのは「過激な」ことではないかと恐れていて、実際に、過激な人たちはいます。私達には「過激な」ことを言う人たちからメールが届きます。一部の牧師は、将来のこと、怖いことについて話したら献金が減るだろうと感じています。そして、こういう教会の中には、20年計画の建築基金を始めただばかりのところもあります。彼らは、「ねえ、私たちは明日いなくなるかもしれない」なんて話はしたくないのです。これらは、ほんの数例ですが、牧師になる人たちは、これには異論が多すぎると感じていて、どの議論が本当なのかは分からない、と。それはとっても残念な事です。なぜなら、私達には分かるからです。聖書を読めば分かることです。でも、「無千年王国説」と「キングダム・ナウ」そして真実の「前千年王国説」すべては過去に起こったとする「過去主義」があります。その人たちの中には、訓練を受けていないために、完全に混乱している人もいます。あなたのようなミニストリーを、神に感謝します。

【アミール】 ええと、今の時代にあるもの、こんにち存在する危険性の一つは、偽預言者たちだと思います。そして、2000年前、3000年前、2500年前の本物の神の預言者たちは、彼らの時代の偽預言者たちが行なっていたようなことに、苦しんでいたようです。エゼキエル13章を読んでいると、エゼキエルが、偽預言者たちを非難していたことが分かります。もちろん、神が、エゼキエルを通して非難されたのです。また、私達は旧約聖書の全般で、偽の教師たちが間違ったタイミングを教えていた事も知っています。その70年の終わりに、イスラエルがエルサレムに帰還するタイミングなどです。彼らは誤ったタイミングを与え、人々の心に誤った希望を植え付けました。では、バリー牧師、聖書の預言を扱っている人たちは、自分の意志で、自分の私的な解釈/発言を提案すべきなのではないでしょうか？教えてください。

【バリー牧師】 エマオへの途上で起こった事についてあなたが読んだ記述が、その疑問に簡潔に答えていると思います。なぜなら、この人たちはイエスの教えを聞いていたのだし、彼らは、イエスがなされた奇跡を見たことがあり、彼らは、聖書と預言者たちが書いたことをよく知っていたのです。それでも、彼らは、預言を誤って理解していたために、彼らは、主が再臨される時になさる事が、降臨や初臨時に起こるのを期待していたのです。イエスの身近にいた弟子たちも同じように考えていたのですが、つまり、主がその時にイスラエルに王国を回復させて下さる、と。キリストは必ずエルサレムに戻ってきて、支配し、治められます。それについては疑問の余地はありません。しかし、主が最初に来られたのは、世の罪を取り去る、神の小羊となるためだったのです。イザヤ書53章を見ると、キリストの死と復活に関する主要な、重大なメシアの預言があり、そこに語られている多くの具体的な詳細によって、慎重に預言を学んでいる人には、キリストが何をやるのかがはっきりと分かるはずで、すなわち、ペテロが警告したように、個人的な解釈をすることは…（第二ペテロ1:20参照）彼らは神の聖なる神の人たちで、将来に関することを記すべく、御霊に導かれて動かされたのです。それには、メシアの二度の来臨、初臨で起こること、人からさげすまれ、拒絶されること、イザヤが書いたようなことなどが含まれていました。私はいつもクリスマスの聖句、イザヤ書9章6節を面白いと思ってきました。預言者は、主の両方の来臨について語っています。「**ひとりのみどり子が私たちのために生まれる。ひとりの男の子が私たちに与えられる。主権はその肩にあり、**」イエスの初臨のとき、それは起こりませんでした。イエスは、イザヤが後に預言したように、人から軽蔑され、拒絶されました。ですから、靈感を受けた昔の預言者たちから私たちが知るべきことは、すべて知らされており、彼らは私たちに、認識する必要のある事を教えてくれており、それらはこの終わりの時に実現してきています。私達は、神のご計画と目的を理解するために、追加で聖書外の啓示を思いつく必要はありません。主は、物事がどうやって終わるのかを教えてくださいました。誰が、重要な役割を果たすようになるかをある程度、教えてくださいました。主は、人間の態度や特色が、終わりの日にどのようなものになるのかを教えてくださいました。アミール、解釈すべき事はそれほど多くはありません。ジャンが言ったように、聖書自体が語るのにまかせるか、スポルジョンが言ったように「**ライオンを檻から出せば**」これらのことを、すべて解決してくれます。ところが、そうではなく、今は、預言者の役職を名乗る人たちが、多くの事を行ったり、発言したりする時代になっています。彼らは基本的に、聖書がすでに与えてくれたものに、つけ加えているのです。

[アミール] さて、ジャン、バリーが言ったことに付け加えると、最近は、多くの人が、自分で預言者と自称しています。そして、彼らはいつも、当然ながら、預言の賜物に関する聖句を利用しています。それで、この二つは、どのように区別しますか。預言の賜物と、すでに与えられている実際の聖書の預言とを？

[ジャン] ええ、そうですね、アミール、これは拡大しつつある現象です。ちょっとだけ話をそらさせてもらおうと、とは言え、実際には別の話ではなくて、あなたが言った事に付け加えると、特にYouTubeでは、こんにち、ある牧師がいて、彼は100万回をはるかに超える...彼は1つか2つ夢を見たんです。彼は100万回をはるかに超える視聴回数を得ていたと思います。彼は今年、2020年にアメリカで何が起こるかを予言しているからです。そして、これは本当に急速に拡散しました。私は、この牧師を批判しているのではありません。私は、彼のことは知らないし、彼の心は正しいものだろうと思われま。しかし、私たちは、この種の予言に対し、非常に注意しなければならないと思います。それは預言者の役職になるのかも知れませんが、今は、その説明はしません。私には分かりません。しかし問題なのは、この牧師と彼の夢のために、何百万人もの人々が今、恐怖を感じているんです。彼が伝えた事について。なぜ預言を提示しなんでしょう？王が来るんです。今にも。今日かもしれません。主が帰って来られて、私たちは空中で主にお会いするのです。流行りに乗らないで、このような預言の話をしようじゃありませんか。全世界、特にアメリカが数ヶ月で崩壊すると言っている預言者の話ではなく、でも、それが私の義務なんです。私たちが扱っているような預言に話を戻すことです。こんなのじゃなくて...繰り返しますが、彼の言う事は当たってるかもしれません。私には分かりません。時がたてば分かるでしょう。でも私が言っているのは、ただ、彼が多くの人を怖がらせているということです。

[アミール] そうですね。ええと、バリー牧師、預言の賜物を持っている人、それは明らかに、新約聖書には賜物として記載されています。それは、どう違うと見えますか？または、それを正しく行使するにはどうすればよいですか？ジャンが言ったのは、人々を励ます代わりに、実際にもっと恐れと絶望を植え付ける人の事です。しかし、その賜物をどのように定義し、預言そのものと区別するのでしょうか。

[バリー牧師] 事実を立証しなければならないと思います。先ほどあなたが読んだように、ヘブル人への手紙にこうあります。

「神は”昔”、預言者たちによって…（中略）先祖たちに語られました、この終わりの時には、御子にあって私たちに語られました。」（1節～2節a）

イエスご自身がマタイ11章13節で、語っておられます。

「ヨハネに至るまで、すべての預言者たちと律法とが預言をした」

ヨハネとは、バプテスマのヨハネのことです。ですから、はっきりと分かります。ヘブル人への手紙は、イエスが私たちに、旧約の類の預言者の役割に終止符が打たれていると言っています。だからといって預言的な啓示が終わるわけではありません。主に最も愛されたヨハネが、後に黙示録、すなわち患難期間の最も詳細な説明と、それ以前の日々のご事も書く事になりましたから。しかし、預言の賜物は違うもので、神の靈感によって語る事です。それは、未来を予言するのではなく、その賜物は、むしろ、神のみことばを公言することで、神と聖霊の靈感による、油注がれた言葉を宣べ伝え、説き勧め、語るためのものです。また、それは、知識の言葉というようなものが存在しないという意味ではありません。神が、誰かの人生に起こっているかもしれない事について、何か、誰かに啓示を与えられ、主は私にあなたを励まさせたくて、「神はあなたが直面している状況を乗り切らせてくださるよ」と、誰かに励ましの言葉である言葉をかけることは、神が靈感を与えるものであり、神は、今でもそうされます。それは御霊の賜物だからです。そして、第一コリント12～14章までの対話の中で最も重要な部分は、神は御自分の賜物を、御心のままに各々に分配すると言われていることです。だから預言の学校に行って預言者になることは出来ません。

[アミール] しかし、それらは存在しています。

[バリー牧師] 癒しの学校に行って癒し手になることはできません。神が、それらの贈物を与えられるのであり、私は、それは時に、個人そのものに関係するというよりも、環境や状況に関係するものだと思います。誰かの魂に響くような形で、キリストの福音を語りかけるための知識の言葉が必要な場合、その時点で神はあなたを用いてくださると信じています。もし、あなたが誰かのために祈ったり、ヤコブの手紙5章に基づいて、油を注いだりすることを神が必要とされ、神がその人を癒すことを選ばれたならば、あなたは、その時に、神が用いられる道具になるのです。でも、今、多くの人がやっているような、特定の個人に対する役職や任務ではないと思います。あなたは預言者で、あなたは使徒で、あなたはこれ、あなたはあれ、みたいな。そして、神が分配してくださる御霊の賜物は、神の御心と目的によるもので、いつも2つのことをするためだと思います。一つには、教会を励ましたり、強く勧めたり、教会の徳を高めるため、それから、人々をキリストに導くためです。預言者の職と預言の賜物の間には、非常に大きな違いがあるのです。

[アミール] その通りです。私がこの質問をしたのは、かなり多くの人が、この2つを混ぜ合わせているからです。現代の預言の賜物のある者が旧約聖書の、昔の預言者と同等であるかのように。そして、教会は使徒と預言者の土台の上に建てられていると聖書に書かれていることを理解することが大切です。そして使徒たちと預言者たちは土台であり、教会は、何か別のものの上に建てられる事はできません。ですから、私たちは預言の賜物を過小評価するのではなく、預言の賜物は、預言者の職に取って代わることも、それを真似することも出来ないのを理解することが重要です。そして、使徒たちにも同じことが言えます。1世紀の使徒に匹敵する新しい現代の使徒はいません。以前に議論したように、メッセンジャーとしての使徒はいるのかもしれませんが。しかし使徒職は、彼らがイエスを直接目撃したという事実などとも関係がありました。しかし、まさにこれが問題なんです。聖書預言を理解していないと、未来に関して、間違った神学理論に到達してしまいます。ジャン、未来について、聖書預言を誤って解釈している人から、どんな事を聞きましたか？未来に関する預言で最もよく見られる3つの誤った解釈を挙げてください。

[ジャン] うーん、携挙のタイミングをめぐる論争が起きているのは明らかですね。

[アミール] あるいは、携挙の期間。

[ジャン] その通りです。これはとにかく途方もないですね。そして、最も厄介^{やっかい}なことは、論争と闘争が、まさにそれ、闘争になっていることだと思います。喧嘩をしたり、携挙のタイミングなどについて私たちが信じている事で私達をあざけて、こき下ろす動画があったりします。もう一つは、ここでも触れましたから、ここで繰り返す必要はありませんが、私たちが今日話していることの重要性が減少しているのは非常に大きいです。繰り返しますが、調査によると、98%がそれを教えていないくて、別の調査では、一これはライフウェイの調査です—インタビューを受けた人々の70%は、現代のイスラエルの再建が、終わりの時代の成就の一つであると信じています。それでも説教壇は沈黙しているのです。ですからやはり、私は多分これを3番目の項目として入れるでしょう。それは、イスラエルに関する誤った解釈です。イスラエルの減退であるにせよ、イスラエルに関する主要神学としての、置換神学にせよ、教会内のイスラエルに対する憎しみにせよ、です。これらが、私を最も悩ませている3つの問題だと思います。携挙、終末論の減退、そしてイスラエルを誤って扱うことです！イスラエルは、すべての事の鍵なのに。

[アミール] ええ、聖書預言を理解していなければ、実に、イスラエルを間違った方法で愛してしまうことさえあるのではないのでしょうか。憎んだり置き換えたりするだけではなく、実際に、彼らにはイエスが必要ないと思うほどに愛することができるのです。

[ジャン] 愛して殺す。

[アミール] その通りです。ずっと抱きしめて…

[ジャン] 地獄までずっと。

[アミール] 地獄までずっと。ですから、やはり、預言がバランスと、神の真の心をもたらず事が分かります。ほら、私は今日、三つの部分で、神がイスラエルに告げている、恐ろしい事について読んでいました。

1つはもちろんエレミヤ30章で、これから起こる、恐ろしい時代について語っています。そしてそれはもちろん、男が産婦のように腰に手を当てる、ヤコブの苦難の時です。(6~7節参照)そして、ダニエル12章で、「(イスラエルの)国が始まって以来その時まで、かつてなかったほどの苦難の時が来る」(1節)そして、マタイ24章を読んでみると、「選ばれた者のために」とあり、そのギリシャ語のeklektosは、イスラエルの選びについて語っています。(22節)神が後悔することのない、あの同じもので、もちろん、申命記7章やローマ書11章などにあるイスラエルの選びです。彼らのためでなければ、誰も生き残らないことがはっきりと分かります。ですから、神は私たちに何が起こるか、恐ろしい描写を与えてくださっています。しかし、同時に、エレミヤ書にはこう書かれています。「だが、彼はそこから救われる」(30:7)ダニエル書では、「しかし、…みな救われる」(1節参照)ローマ11章には、「こうして、イスラエルはみな救われる」(26節)ですから、預言は、面と向かって真実を突き付けているわけです。あなたが信じない側にいると、こういう事が起こる、と。しかし、あなたが悔い改め、あなたがイエスを受け入れるや否や、救いがあり、悔い改めがあり、赦しがある、と。しかし、預言は物事を美化するものではありません。預言は、あなたにありのままの未来を与えます。そして、それが美しいところです。ヨハネは、誰も何かを足したり引いたりすることはできないと言います。(黙示録22:18参照)できません。それが現実です。この世に降りかかる恐ろしいことについて、黙示録が、どんなに厳しい事を告げていても、最後の最後に、私たちが見ることになる祝福は...

[ジャン] アミール、黙示録を読むだけでも祝福があります。

[アミール] 確かに、1章で述べています。「朗読する者と、それを聞いて、そこに書かれていることを守る者たちは幸いである」(3節)おっしゃる通りです。ですから、それを理解することが重要です。

では、次に移りましょう... そろそろいくつか質問を受けましょうかね。そして、そのためにマイク・ゴレイ牧師を加えたいと思います。あと、言い忘れていたかもしれませんが、私たちが、質問に答えられるように、質問を書いてくださいね。ですから、質問したい場合は、こちらのチャットに書き込んでください。喜んで回答します…たぶん…残り30分くらいです。それでは、マイク・ゴレイ牧師を加えます。マイク牧師、すみません。さあ、どうぞ。名前を入れさせてください。シャローム、マイク、ミュートを解除させてください。これでミュートが解除されました。どうぞ。

[マイク牧師] シャローム、こんにちは、皆さんに会えて嬉しいです。フォーラムのコメントを拝見していますが、本当に健全な議論ですね。そして、今日は皆さんにご参加いただき、本当に光栄に思っています。皆さんは真の見張り人です。とても良いコメントです。ガイドラインを参考に、すぐに始めようと思います。アミールが言ったように、コメント欄に質問を投稿してください。管理者のジェイソンが、それをまとめて私に送ってくれています。アミールが、パネルに参加して質問に答えます。最初の質問はね、アミールに向けます。カレンからです。カレンの質問は、

Q: 「イスラム教徒が、イエスについての幻や夢を与えられるとき、彼らの信仰に至った証にあるように、彼らは、本当にイエスについての幻や夢を見たのでしょうか？」

アミール、それについてどう思いますか？

[アミール] ネブカドネザルが、主の夢を見て、バラムが、主が自分に会いに来る夢を見て、ロバが喋れるなら、未信者が幻を見ても問題ないと思います。実際、幻を通して、神は信者以外の人々に、彼らの信仰や、彼らが、どれほど神を必要としているかについて語るすることができます。だから、私はそれは全く問題なく受け入れられます。イスラエルでも、主に従っていなかった人々や、王たちが、幻や夢の中で神の訪問を受けたことがよくあると思います。その特定の場所に(受け入れる)準備があるときに、神は、そうしてくださると思います。部族のリーダーが…ところで、聞いた話ですが、例えばイランでは、これらの幻を見るのは、ほとんどの場合、部族のリーダーです。リーダーを殺すことはできません。リーダーは実際に、他のすべての人を信仰に導くことができます。もし、それがただの部族の一員で、彼が、それを極端な狂った原

理主義のイスラム教徒に話したら当然、殺されるでしょう。しかし、部族のリーダーには、誰も手を出しません。イスラム教では…皆さんには、分からないかもしれませんが…イスラム教では、最も重要なのは部族間のつながりであり、他の何でもありません。ムハンマドが、そうやって始めたのです。そして、イスラム教内の戦争のほとんどは、部族間の、異なる部族の問題でした。だから、部族社会ですから、部族のリーダーがそのような幻や夢を見ると、人々は彼の言ったことに従わなければなりません。ですから、私はイスラム世界から届く多くの報告に、大きな励ましを受けていますし、私は、それらを過小評価することはありません。それが作り話だとは思わないし、イスラム教徒だから、彼らの話を聞くべきではないとも思いません。私は、このような人たちこそ、そのような啓示を受けるべきだと思っています。

[マイク牧師] バランスのとれた答えをありがとうございます。次はジャンに質問です。ブレンダから。ブレンダの質問は、

Q: 「『ヤコブの苦難の時』について詳しく説明してもらえますか？「ヤコブの苦難の時」とは何ですか？

[ジャン] それでは無いものを、お答えしましょう。それは、教会の苦難の時ではありません。「ヤコブの苦難の時」は、ダニエルの70週目の大患難です。そして、大患難はユダヤ人国家の救済のためにあるのです。それは、この座談会でも、今後の話題になるでしょう。

[アミール] そうですね。

[ジャン] 患難において何が起こるのか、それは、率直に言って恐ろしいものです。確かに2020年にはいくらか混乱が見られました。そして、私たちは過去数年間に、いくつかの本当にひどい自然災害を経験しましたが、しかし、それらはみな、コロナを含めて、ヤコブの苦難の時に比べれば色あせて見えます。そして、それは神がイスラエルを信仰に導く時です。神は教会を取り除き、引き止める力を取り除きます。すると、患難において、文字通り、地獄のような混乱が起こります。イスラエルを信仰に導くためです。どういふわけか、ヤコブの苦難の時は、怒りの前・患難中期・患難後の携挙を信じている多くの人々によって、教会に押し付けられています。しかしそれは、本当にイスラエル中心です。

[マイク牧師] バリー牧師、これはヤコブの苦難の時について多くの人が尋ねている質問です。携挙が起こる時と、患難が始まる時の間にはギャップがあるのでしょうか？もしそうだとしたら、聖書は携挙と患難の開始の間に、何かの期間があると言っているのでしょうか？

[バリー牧師] いや、教会の携挙から実際の患難の始まりまでに、期間があるとは、具体的に示されていないと思います。中間点では、患難がどれだけ残っているかを伝える目印があることは分かっています。忌まわしい荒廃の後の1260日です。そして、その期間に関する他のタイムスタンプも与えられています。しかし、言わば携挙の後に患難の初日が来るというのは、それが事実であるかどうかを知ることができない情報はないと思います。しかし、私たちが患難時代がどういうものかについて分かっていることから推測できるのは…それは、ダニエルの第70週です。そして、教会が取り除かれた後、不法の者がイスラエル国家と7年間の契約を結ぶことを私たちは知っています。だから、その後、そう長くはかからないでしょう。そして、携挙の日が、患難時代の一日目になると言えるのかどうかは分かりません。しかし、明らかに、必要に迫られて、世界の再編が行われることは分かっています。人々が権力争いをしたり、そういったいろんな事が起こります。そして、この人は、ダニエルとその民と聖なる都に約束された70週のうちの70週目にあたる正確な7年間の期間にわたるイスラエルとの契約を立案し、開始することができるレベルの権威を持たなければならないこととなります。ですから、私が知っている事、そして私が認識するのが最も重要だと思うことは、大脱出（携挙）が大患難に先行するということです。そして、ありがたいことに、主はイスラエルの国を取り扱う前に、私たちを迎えに来てくださるのです。そしてその後は、ジャンが言ったように、またアミールが指摘したように、地上では、その患難の期間に地獄の時代が来るのです。だから、すぐに始まるのか、時間のギャップがあるのか、私には具体的なことは言えないのです。しかし、私が思うに、論理的

に考えると、この人（反キリスト）が世界的に権威のある発言力を持つようになるまでには、すこし時間がかかりそうです。ですから、契約と教会の携挙の間にある程度の時間があるかもしれません。

【アミール】 マイク、私にひとこと言わせてください。先日、私の教えについてのコメントを読みました。信じられないかもしれませんが、私は時々コメントを読みます。ある女性が、大患難前携挙の神学は反ユダヤ主義であると言っていました。何と言うか... 私は当惑しました。そして彼女は、「なぜ、教会が取られて、イスラエルが残るのか？それは反ユダヤ主義だ」と。私は言いました。「今あなたが信者なら、ユダヤ人だろうが異邦人だろうが、あなたは連れて行かれる。だから、そこに反ユダヤ主義はないですよ。」大事なのは、悔い改め、イエスを自分の主、また救い主として受け入れ、聖霊に満たされ、主が来て、ここから連れ出して下さることを期待し、待ち望むことです。それが本質です。イスラエルが残されなければならないのは、神が彼らを憎んで、私たちを愛しているからではありません。それは、神が辛抱強いお方で、彼らに悔い改めるチャンスを与えているからです。明らかに、私たちがいなくなった時に、神はすべてを破壊することができます。でも、そうされません。興味深いのは、エレミヤ書30章とダニエル書12章、およびマタイ24章のオリーブ山の説教で先に話し合ったように、最終的に、イエスを受け入れる事になる人たちのために、神は彼ら全員を滅ぼそうとはなさいません。そして、これらの人たちは、私たちが話したように、選ばれた人たちです。だから私が言いたいのは次の通りです。神は、すべての人が悔い改めることを望んでおられます。もし、国家としてのイスラエルが今悔い改めないなら、間違いなく、彼らは苦難の後に悔い改めます。実際、患難の後半を通して、神はすでに1260日の間、砂漠に彼らのための場所を準備しておられます。そして、そこで彼らがきっと、神の御言葉と、ご計画について、たくさん聞くことになるのだと私は確信しています。実際、1960年代には…これはもう言った事があると思いますが、ヨーロッパからの観光客がイスラエル、最終的にはエルサレムに到着しました。エルサレムの旧市街は、まだイスラエルの一部ではありませんでした。それはまだヨルダンの支配下にありました。彼らは、何百冊もの聖書を持っていき、エルサレムのヨルダン側にまでこっそり持ち込み、そしてヨルダンからバスに乗って、エルサレムのヨルダン側からペトラまで行きました。彼らはペトラからエルサレムまで、毎日ツアーを続けていました。そして、彼らは聖書を洞窟に隠しました。ヘブライ語の聖書です。どうして？なぜなら、神が1260日間、イスラエルをあの洞窟の中で守られるのなら、新約聖書は、どこにもないだろうと考えたからです。私達は、彼らのために準備できるかもしれない、と。これは素晴らしいことですよ。神の民に何が起こるかについて、事前に行動を起こせるんです。神は、反ユダヤ主義ではありません。そもそも神は、イスラエルを選ばれたお方です。イスラエルのために計画を持っているのは神で、聖書には、神の賜物と召命とは変わることがないと書いてあります。（ローマ11:29）最終的には、イスラエルはみな、救われます。ご安心ください。神は、ご自分が非常に愛している人々を滅ぼすことには、少しも関心がありません。しかし、繰り返しますが、悔い改めねばなりません。繰り返しますが、イエスは唯一の道、真理、そしていのちです。（ヨハネ14:6参照）イエスを通してでなければ、だれも、御父のみもとに行くことはできません。ですからイスラエルは、自分たちが突き刺した方を見て、嘆き、泣き、悔い改めます。（ゼカリヤ書12:10参照）そして、それが彼らが救われる時です。

【マイク牧師】 皮肉なことに、ここにはユダヤのバックグラウンドを持つおふたりがいますが、2人は、断固として、患難期前携挙を信じることを、選んでいます。つまり、ユダヤ人ですら信じてしまうほどの反ユダヤ主義なんですね。（笑）ジャン、どうぞ。

【ジャン】 ご質問にコメントしてもよろしいでしょうか？バリーに向けられましたけど、いい質問ですから。携挙後に世界が対処しなければならない最大の要因の1つは、何百万人もの行方不明者が出ることだと思います。アメリカでは、3000万人から5000万人の行方不明者が出るかもしれません。誰かが進み出て、何が起こったかを説明するか、おそらく、愚かな理由や言い訳を提示しなければなりません。しかし、誰かが支配権を握らねばならなくなるでしょう。ワシントン（政府）の一部が、いなくなるかもしれません。政府内の信者が。携挙の後、正式に大患難が始まるまで、そんなに長くはないと思います。明らかに、それはダニエル書9:27の契約です。人々は、それに気を付ける必要があります。しかし、その混乱状態で、どのくらい続けられるでしょうか？アメリカを例にとってみましょう。アメリカでは、3000万から5000万人が、

いなくなります。誰かが出て来て、言わなければなりません。「私には答えがある。私はそれを修正し、混乱から秩序をもたらすことができる」そして、私は、非常に速やかに登場するその人が反キリストだと思います。

[マイク牧師] 全くそうです、ジャン、とってもいい回答です。ダニエルと言えば、ラティーシャが、とても良い質問をしています。これは、全員に聞きたいと思います。大きな問題ですから。ジャンも、バリー牧師も、アミールも、いっぱい調べたことだと思います。ダニエル書の幻（ネブカドネザルの夢）の中の10か国、つまり、その像の、粘土と鉄を混ぜた10の足の指ですが、まず、バリー牧師にお聞きしますが、皆さんの研究と信念に基づいて、

Q：「それらの10本の足の指、つまり、それらの国はどこだと思いますか？」

そこから、3つはなくなりますよね。これについては多くの憶測があります。バリー牧師、教えていただけますか？

[バリー牧師] 思い出してください。エゼキエル書38章のように、創世記10章の「国々の系図」から、ノアの子孫の名前や子孫についての記述がある箇所があります。そして、それらによって代表される世界地理上の地域があります。そして、ダニエル書にあるこの像は、これらの特定の国が誰であるかについて、非常に具体的な情報を与えてくれます。その像を構成する金属の価値は、上から下に、段々下がって行って、脚は鉄になり、そして爪先は粘土と鉄が混ざっていて、それは、過去にあったものの再形成を表していて、復活したローマ帝国です。そして、ローマ帝国が全盛期だった頃のパックス・ロマーナ（ローマの平和）があり、それは、いわば、その治世の間、最も広い領域を占めていました。地理的に、旧ローマ帝国に代表される国が何であれ、これらの国が、この帝国の一部となるでしょう。そして、明らかに、ローマなくしてローマ帝国を築くことはできません。ですから、西ヨーロッパが地理的には、ダニエル書の第四の獣である、最終的な世界帝国が立ち上がる地域になることが分かっています。そして、黙示録13章の獣である反キリストは、その地域から立ち上がってくるのです。したがって、ローマ帝国の地理的な地域の、現代名のついていない国々について言えば…エゼキエル書のように、さっき言った通り、ノアの子孫と関係のある地域があります。今は、ロシアとトルコ、ペルシャ、イラン、リビア、スーダンがこれらの古代の名前で表されていることがわかります。同様に、私たちは、像について、何が起こったのか、先ほどのように、金属価値の減少を解釈する上で、それらに代表される国家に、地理的にも同じ原理を適用しなければなりません。金の頭はバビロンです。銀の胸と腕はメドペルシャ帝国を表し、そして、腰と太ももの銅は、ギリシャ帝国を表します。そして鉄の脚であるローマと、他国と混ざりあって復活したローマ帝国の姿があります。それは、大患難の期間に起こることになる、非常に緩い連合の勢力です。ご存知のとおりローマ、ローマ帝国は間違いなく、そこに代表されています。西ヨーロッパは、反キリストが立ち上がる場所です。彼はアッシリア人ではなく、ローマ帝国から立ち上がります。そして、彼と同盟を結ぶ他の国々は…それらが、どの国になるかについて独断的に何かを言えるかどうかは分かりませんが、しかし、ローマ帝国は間違いなくその連合の要となるでしょう。

[マイク牧師] ジャン、そのことについてどう思われますか？あなたは、その分野で広範な研究を行ってきました。

[ジャン] ええと、私が言いたいのは、少なくとも、アメリカ人について言えば、彼らは、皆の目がアメリカに集中するのを望んでいます。残念ながら、私たちは聖書には載っていません。実際には、ヨーロッパに目を向けるべきだと思います。アミールは、私のカンファレンスの1つで、2016年に「ヨーロッパ 反キリストへの準備が出来ている」というメッセージを語ってくれました。そして翌年には続編「ヨーロッパ：反キリストにさらに近づいている」で、ヨーロッパの重要性を強調しました。そして今、私たちが話している間にも、各国が、EUからの離脱について話しています。明らかに、英国は離脱を望んでいます。他の国々も離脱を望んでいます。——これは、ローマ帝国復活のための舞台が整えられているのでしょうか？

我々には分かりません。可能性はあります。しかし、皆、アメリカではなくヨーロッパに、注目する必要があります。皆、ヨーロッパに注目せねばなりません。それは欧米人、特にアメリカ人には理解するのがとても難しい事なのです。アメリカは絵の中心にはありません。中心はヨーロッパです。驚きます。

[マイク牧師] アミール、今公開したばかりだけど...続けてください、ジャン、どうぞ、邪魔してごめんなさい。

[ジャン] いいえ、言いたいことは言い終わりました。私たちは、ヨーロッパで何が起ろうとしているのか、そしてヨーロッパで何が起っているのかに焦点を当て始める必要があると思います。ヨーロッパには、反キリストの候補たちがいるか？もちろんです。でも、繰り返しますが、この人たちの名前を挙げたり、憶測したりするのは無意味です。エマニュエル・マクロンが反キリストになる可能性があるとして、3年前に言われていました。でも、彼の帝国、フランスはバラバラと、本当に崩壊しています。だから、本当に気をつけていないといけなのです。でも、そこが問題の核心なのです。復活したローマ帝国は、アメリカでもカナダでもなく、西洋のどこでもありません。

[マイク牧師] 私たち、皆が同意しているようですね。別の見方もありますが、ちょうど昨日、アミールがまさにその話をしたものを、プレミア公開しました。アミール、なんか言いたくてウズウズしてますね。

[アミール] 私が話したくてウズウズしているのは、もう話したと思うのですが、皆さん、ご覧になれるか分かりませんが、私は基本的に10の部族を特定しました。西ヨーロッパの一部である古代部族ですが、そのうちの7つは、今も存在しています。はっきりと分かるように、そのうちの3つは、もう存在していません。繰り返しますが、私はここでは独断的ではありません。私達は、みんな、ローマ帝国のことだと信じています。私たちは皆、復活したローマ帝国のことだと信じ、ヨーロッパ西部のこと



だと信じています。そこで私が特定したのは、西ゴート人、アングロ・サクソン人、フランク人、アレマン人、ブルゴーニュ人、ロンバルド人、スエビス人です。これらの国々は今も存在しています。それに対し、ヘルリ族、オストロゴート族、ヴァンダル族は消滅しました。それらは、かつてはその一部でしたが、現在は存在しません。しかし、私たちは、非常に注意しなければなりません。なぜなら、自分が次の世界的リーダーであるふりをして登場してきている狂人たちが、たくさんいるからです。今、新しい人がいて、彼は自分がイギリスの本当の王だと言っています。私は、彼の名前もよく覚えてません。それで、彼のインタビューを見たのですが、つまり、その人は、神が彼に語って、彼に王の剣を与えたと言うのです。彼は、象徴的に自分がダビデの部族、ダビデの家系に属している、と信じています。つまり、彼は至る所で、多くの人を騙しているのです。いいですか？ 聖書に書いてあることから離れず、憶測は、他の人に任せましょう。だからこそ、ここにいる4人は、ダニエル書7章の、あの獣の足のそれぞれの指、それぞれの角が、厳密に何であるかについて、独断的ではないと思うのです。しかし繰り返しますが、私たち3人全員が同意しているのは、反キリストはAD70年に、エルサレムの神殿を破壊した敵と同じ地域から興るはずで、なぜなら、これぞダニエル書9章を読めば、そのように理解できるからです。そして、これが私の見方であり、バリーとジャンの見方でもあります。今お見せしたのは、単なる提案であって、それ以上のものではありません。つまり、私は、啓示を受けたわけではありません。私は、それらを分析してそのような結論に至っただけで、もちろん、これよりも良い説明があれば、いつでも訂正を受け付けています。

[ジャン] ええと、アミール、ベルリンにサタンの座があると思いますが。

[アミール] そうです。

[ジャン] それは、説明した方がいいと思いますよ。

[アミール] ええ、正直なところ、人々が「反キリストはどこから来ると思いますか？」と私に質問してくると、私は内心直観的に、ドイツ/フランス同盟が、これを生み出しそうな気がしています。ドイツは、何の問題もなく、バビロンから来るものをすべて受け入れています。そして、ドイツ人はバビロンの門を、はるばるドイツにまで持ち込みました。彼らは、トルコのペルガモンの町から、当時サタンの座として知られていた祭壇全体を持ち込みました。それは、ベルリンのムゼウムスインゼルにあるペルガモン博物館にあります。ドイツ人については…。人々がバアルのアーチに抗議したようなものではありません。それは、世界中を移動していますが、あれはただのレプリカです。彼らは本物を持って来たんです。そして、また、フランスの側から邪悪なものがたくさん出るのも見えています。私は、マクロンが反キリストだとは思いません。本当にそうは思いません。と言うのも、彼は自分の国を支配することさえ、できません。彼が、ヨーロッパや世界を支配できるとは思いません。しかし、私は、彼はグローバリストが上手くいくかどうかを確認するための実験台として、投入した人物だと思っています。無名の、若い、カリスマ性のある人を連れてきて、それができるかどうか見るために。ほぼ全ての世代において、彼らは、誰かを後押ししようとしていると思います。そして、それは今のところ上手く行っていません。しかし、繰り返しますが、私自身が感じている所では、世界のあの部分から、あの人物が上がってくるのを見ることになるでしょう。そして、西ヨーロッパに行くたびに、私はその重さを感じます。もちろん、たくさんの信者がいて…たくさんではありませんね。たくさんいればいいのですが、信者はいます。私たちは、彼らのために祈っていますが、彼らはとても孤独です。今は、本当に神が信じられていない場所です。そして今、その中にイスラム教徒を招き入れてしまったのです。そして、ごらんなさい。フランスでは大聖堂が次々と焼かれています。最も古い大聖堂の一つ、――パリのノートルダム寺院のように――今、フランスのナネットの街で巨大な、古代の大聖堂も炎に包まれています。そして、次々と焼き討ちに遭っています。そして、ヨーロッパの独仏圏の誰かが出て来て、「もうたくさんだ」と言うでしょう。そして彼は、希望を失くしたヨーロッパの人々、絶望的な人々、世界の人々に、ある種の救いをもたらすでしょう。ちなみに、コロナウイルスは、彼が台頭するのかっこうに、恰好の足がかりになるのではないかと思います。欧州に限らず、世界中が絶望しているからです。

[ジャン] その通りです。

[アミール] いつか、それもここで検証するかもしれません。私たちは反キリストと偽預言者について、数週間後、一回分の時間をかけて、それらについても調べていきます。

[マイク牧師] さて、今日は時間が残り少なくなってきました。実際には、もうちょっと超過しています。でも、最後の質問をしたいと思います。キンバリーからの質問です。この話題に関係して、

Q：「反キリストが今現在、生きていますか分かりますか？」

バリー牧師、あなたはそれについてどう思われますか？

[バリー牧師] まあ、そのはずだと思います。時が近くなり、私たちが「これらすべてのことが起こるまで、過ぎ去ることのない世代」であることを思えば。それに、世界は、誰かが来てすべての問題を解決する用意と準備ができています。そしてジャンが指摘しているように、大勢の人がいなくなった瞬間に、問題は激増する一方でしょう。教会の携挙によって、引き起こされる様々な問題が出てくるでしょう。彼らは、誰か、理性の代弁者として立ち上がり、世界が切望している「平和と安全」をもたらすことができる人物を探ることになります。パウロが言ったのは面白い言葉です。ギリシャ語では「繁栄と保障」を意味していますから。そして、それがこんにち、人々が求めているものです。彼らは、私たち全員が繁栄し、安心して暮らせることを求めています。そして、ダニエルが言うところの、なめらかに巧言こうげんを用いる人物が現れ、全世界を欺きます。(ダニエル書11:32参照) 黙示録13章は、「全世界が彼に従って崇拜するだろう」と述べています。ですから、彼が権力を握るためのメカニズムがあるはずで、そしてそのメカニズムは、明らかに教会の携挙です。そして、ジャンが指摘したように、その後どのくらいの期間になるのか、特定の日や、期間があるのかどうかは分かりませんが、それは迅速に起こるはずで、教会の携挙の後、世界は絶対的な混乱に陥るからです。大患難の間に、究極的な成就を迎えることになるあらゆる兆候が、今私たちに見えている

事を考えると、その男が今、生きていなければならないことは、ほぼ確実だと言えるでしょう。マイク、もう1つ指摘させてください。それでおしまいになります。ヨハネの黙示録17章では、彼に仕えていた人たち、いわば彼の取り巻きが、まだ国を受けていない、ということを語っています。それで彼らは、彼と共に権力を握るでしょう。世界はセクションに分割され、彼らが彼と共に支配するでしょう。したがって、マクロンに注目する必要はありません。アミールとは、前にそのことについて話したことがあると思うんですが、マクロンではありません。彼は自国さえ治められないのです。この男（反キリスト）は、広く人気が出ます。人々は、彼を愛することになります。彼は、すべてを説明するでしょう。彼は中東危機を解決することになります。そして、世界中が彼に夢中になります。そして、全世界が、そのような人物に飢えていなければ、彼が権力に立つことはできないでしょう。まさに今、世界はそういう状況にあって、誰かが立ち上がって、「これが答えだ、前に進もう」と言ってくれる人を探しています。

【マイク牧師】 はい。ジャン、バリーが言ったことを、もっと説明してくれますか？この反キリストは、どんな人でしょうか？つまり、カッコよかったりしますか？カリスマ性がありますか？彼はどのように話し、人々に対して、どんな能力を持つのでしょうか？それについて、詳しく教えてください。どんな特徴の人でしょうか？

【ジャン】 ものすごくカリスマ性があり、外交的で、それまで、そのようなカリスマ性を持った人は世界にいなかったでしょう。マイク、私の信念は、「時代を理解するラジオ」で、私がゲストに迎える、ほぼすべての学者と一致するものですが、それは、おそらく、と言うよりも確実に、これを満たすために、どの世代にも選ばれた男がいたということです。サタンは終わりがいつなのか知りません。つまり、彼は、私たちと同じように兆候を見ていて、把握しようとしているのです。「おお、時間がなくなってきてるぞ。この役割を演じる男を選んでおかないと。」だから私は、サタンがあらゆる世代で誰かを選んできたと信じています。そして明らかに、各世代が過ぎるたびに、バトンは、次の世代へと受け継がれていきます。この男は、今まで私たちが知らなかったような、誰とも違う男になりそうです。私たちは、いなくなっています。そして、エマニュエル・マクロンのようなカリスマ性を持つことになるでしょう。しかし、指摘されているように、マクロンはレモネードのお店も、まともに運営できません。彼の国のように崩壊してしまうからです。しかし、この男（反キリスト）は、「計画を持った男」になります。彼は「ミスター修理屋」になります。彼は、コロナを含むすべての問題を修正する方法を知っています。

【マイク牧師】 はい、ありがとうございます。アミール、これをあなたに聞きたいと思います。そして実際に、これで締めくくりたいと思います。そして、私は正式に私のセクションを終了します。あなたの講演「ヨーロッパ：反キリストへの準備ができています」を昨日フェイスブックで紹介しました。ぜひ、皆さんにも見ていただきたいと思います。アミール、その教え全体を要約できるとしたら、どのように要約しますか？私の時間は終わりましたから、後を引き継いで締めくくっていただけますか？しかし、その動画から、何が期待できるのかを伝えてください。皆さん、その動画をぜひご覧ください。（最後に紹介しています。）

【アミール】 私は、ヨーロッパが神を追い出し、バビロンを招き入れたと結論付けました。ヨーロッパは悪魔崇拝を輸出し、ヨーロッパはリベラルなライフスタイルを輸出し、ヨーロッパはグローバリズムを推進し、ヨーロッパは、非常に反イスラエルです。つまり、その全てが、メッセージの最後の方にあるんです。しかし、これが結論です。私は、クリスチャンの話をしていてのではありません。ヨーロッパ中に、イスラエルを愛するクリスチャンがいて、彼らは、私が彼らの事を言っているのではないのを知っています。私が言っているのは、イランに譲歩する事に何の問題も持っていない、西ヨーロッパの政府の事です。しかし、彼らは、イスラエルがエルサレム、または、ユダヤとサマリアに建てている家の一つ一つを批判します。私たちが話しているのは、非常に腐敗していて、神を信じず、誰かがそこから出てきて、権力を握る準備ができていく大陸の事です。そして、私たちはそれをいつか見ることになります。しかし、覚えておいてください。教会は...第二テサロニケ2章には、明確に事実を告げています。引き止める者が取り除かれて初めて、反キリストが現われる。（7節参照）ですから、私は反キリストについて話すよりも、イエス・キリストに

ついて話す方が楽なんです。反キリストは、私たちのためではありませんから。しかし、彼について、私たちが知っている事を、今後、ここで話していきたいと思います。ジャンとバリー、皆さんに、お二人への連絡方法、検索方法、そして、あなたがたが書いた本で、購入することができるものがあれば、それを皆さんに教えてください。ジャン？

[ジャン] OliveTreeViews.org、ビューポイント（視点）のビュー、OliveTreeViews.org「時代を理解するラジオ」を、チェックしてください。ここにいる方たちは、私のお気に入りのラジオゲストです。そして秋のカンファレンスがあります。今年も、バリー牧師とアミールが、5人のゲストのうちの2人として、参加することになっていました。しかし、コロナのせいで、今年は、中止せざるを得ませんでした。しかし、2021年を目指しています。

[アミール] すばらしい。バリー牧師、どうやったらネットであなたを見つけられますか？

[バリー牧師] ああ、フェイスブックでフォローしてもらえます。そして、前回もこの話をしたと思いますが、アミールのように公のページを持っていて、それをフォローするだけでいいんです。友達リクエストを送る必要があるとしたら、それは私の個人ページになりますが、そこではもう友達を受け入れることができません。フェイスブックのBarry Stagnerでフォローできます。インスタグラムや、ツイッターでも同じです。私の名前です。そして、私たちのYouTubeチャンネルは、「The Truthabout God」（神についての真理）です。または、私の名前を検索して、見つけることもできます。アミール、それから私はいつも…このような時代に、いくつかの特定のことが起こったり、私達が人々をカウンセリングしていて経験した事などから神が、私の心に与えられたのは…私は数年前に「Dancing Withthe Scars」（傷跡とのダンス）という本を書きました。詩篇30:11のアレンジのようなもので「あなたは、私のために嘆きを踊りに変えてくださいました」特に今、何らかの落胆と戦っている人たちにお勧めしたいと思います。失望に関する章があります。人生に失望したとき、状況が突然変わって、あなたが予想していなかった方向に行くとき。ただ、私たちの焦点を主に戻して、主に信頼するように。絶望と落胆と闘っている人には、アマゾンに行って、その本を手にとることをお勧めします。電子書籍、またはペーパーバックの形で入手できます。言及してください、ありがとう。

[アミール] そして、私の2冊の本をご購入できます。"The Day Approaching"は新しい本で、"The Last Hour"は最初の本です。実は、3冊目も、もうすぐ書き終わります。それは、素晴らしいものになるでしょう。少なくとも、私は気に入っています。しかし、私が言えるのは、そしてバリーとジャンはおそらく私に同意してくれるでしょう。ソーシャルメディアでの、私たちの日々は残り少なく、私たちは皆それを知っています。これが、BeholdIsrael.orgのニュースレターに登録して、購読することを、お勧めする理由です。ニュースレターを購読することができます。メール形式で入手することができます。ジャン、あなたも同じことをしていますね？

[ジャン] はい、eニュースレター、OliveTreeViews.orgにアクセスしてください。

[アミール] OliveTreeViews.orgでeニュースレターを購読できます。バリー、そういうのはありますか？それとも、始める予定はありますか？

[バリー牧師] いいえ、実際にはアプリがあります。CCTustin.orgのウェブサイトから情報を得ることができます。アプリをダウンロードするためのガイドがあります。アプリでは、教会で起こっていることについて最新情報をお届けしています。

[アミール] 繰り返しますが、近い将来、ソーシャルメディアが、私たちを追い出すでしょう。どうして？保守的な見解や聖書の真実に対する寛容さが薄れてきているからです。そして彼らは嘘と欺瞞を広め、人々を洗脳するという彼らの仕事をしたいと思っているのです。私達は今は、それらを利用しています。それが

可能ですから。でも、それができない日があるでしょう。そのために、ニュースレターを入手してください。私たちのウェブサイトBeholdIsrael.orgで何が起きているかをご覧ください。Behold Israelのアプリもあります。そして、ソーシャルメディアの様々なアカウントでも私たちを見つけることができます。マイク牧師、私たちを助けてくれてありがとう。ジャン・マーケル、どうもありがとうございました。バリー・スタグナー牧師、ありがとうございます。今から2週間後、ここで新しい預言座談会で、新しいことについて話し合います。今日は素晴らしかったです。この新しいプラットフォームが出来てとても嬉しいです。もっと質問に答えて、もっと多くのことを議論して明らかにしていきます。では、ジャン、私たちのために、この放送をお祈りで締めくくっていただけますか？

[ジャン] お父様、確かな預言の言葉に感謝します。私は今、牧師たちのために祈ります。すべての人に励ましを与える、聖書の預言を教えるビジョンを、受け止めることが出来ますように。それは、残された唯一の希望です。それは祝福された希望であり、永遠の希望であり、イエス・キリストとの永遠、そして私たちが愛する、すべての人たちとの素晴らしい再会もあります。ですからお父様、教会において新しいやり方であなたがお出来になる事を感謝します。この素晴らしい、素晴らしいニュースに説教壇を開いて下さることを。これを、イエスの素晴らしい御名によってお祈りします。アーメン。

[アミール] アーメン。皆さん、ご参加くださり、ありがとうございます。このミニストリーを支えてくださり、改めて感謝します。スクリーンに映っている私たち全員を、皆さんの祈りの中に入れておいてください。今は笑顔かもしれないし、幸せそうに見えるかもしれませんが、一週間の間ずっと、たくさんの火矢を受けています。私たちは皆さんに傷を見せませんが、主が、私たちの羊飼いであり、私たちの力であり盾です。私達は、主に信頼しています。そして、皆さんが素敵な週末と、素敵な一週間を過ごせますように、お祈りしています。月曜日に中東アップデート。今回はリビアについてお話しします。とても興味深いです。そしてもちろん水曜日に、ZoomとYouTubeで国際祈禱会を行います。そして、その先にある多くの事については、私たちのウェブサイトでご覧になれます。ありがとうございました。

God bless you!!!

ガリラヤよりシャローム、さようなら。

<YouTube Behold Israel/日本語より>

※「[ヨーロッパ 反キリストへの準備が出来ている by アミール・ツアルファティ](#)」

2016年10月ミネソタカンファレンスにて。

西ヨーロッパがこの100年の間に、いかにして文字通りバビロンをその国境にもたらしたか、そして、反キリストの誕生へといかに近づいているかを説明します。

※「[ヨーロッパ 反キリストにさらに近づいている by アミール・ツアルファティ](#)」

2017年10月ミネソタカンファレンスにて。

ヨーロッパにおける大量の不法移民について、止まることのないテロ攻撃について、そしてファシズムとナチズムに舞い戻る事への恐れについて、神の御言葉に照らし合わせて伝えていきます。

ヨーロッパは、もうすぐ反キリストを生み出すのか？



メッセージ by Amir Tsarfati / Behold Israel :<http://beholdisrael.org/>

ビホールドイスラエル 日本語 YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCLcuvC6Mr63AqwiiXDkwRVQ>

2020.09.15 (Tue)